年間授業計画　新様式

# 高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 国語 科目 現代の国語 年間授業計画

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ E 組

使用教科書：（ 桐原書店「探求　現代の国語」 ）

教科　**国語**　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|---|---|---|
| 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

科目　**現代の国語**　の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【主体的に学習に取り組む態度】 |
|---|---|---|
| 現代の社会に必要な母国語としての日本語の知識や技能を身に付けるようにする。 | 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| | 単元名・指導項目・内容 | 単元の具体的な指導目標 | 評価規準 | 領域 話聞 | 書 | 読 | 観点別 知 | 思 | 態 | 配当時数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1学期 | 導入<br>評論の基本的な読み方を習得する | 評論の読解において、全体の構成を的確に捉えるためのポイントを確認する。 | 【知識及び技能】<br>本文中に出てくる漢字の読み書き、慣用表現を身に付けようとしている。<br>本文読解において、接続詞の重要さを確認しようとしている。<br>【思考力・判断力・表現力等】<br>接続詞に着目しながら、全体の構成を力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>日本独自の「デザイン」において「ほどほど」というキーワードをもとに、改めて周りのデザインを見つめ直そうとしている。<br>「読む」ということについて、改めて「読むという営為」として捉えなおそうとしている。 | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 「ほどほどのデザイン」佐藤卓<br>〈文化〉 | 具体とまとめの関係を整理し、「日本文化論」の基本的な概念について理解するとともに、世界の文化との比較理解についての理解を深める。 | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | | ○ | | ○ | ○ | | 1 |
| | 「読む」外山滋比古<br>〈言語〉 | 文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 『神様』川上弘美<br>〈知〉の深化 | 「読む」の評論を受けて小説における「読み」とは何かを理解する。 | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 8 |
| | 定期考査 | | | | ○ | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | | | | |
| 2学期 | 「環境世界」大井玄<br>〈社会〉 | 環境についての具体例を通して筆者が提起する課題を理解し、メディア社会に生きる者として問題意識を持つ。 | 【知識及び技能】<br>現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。<br>【思考力・判断力・表現力等】<br>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 「経済の論理/環境の倫理」岩井克人<br>〈経済〉 | 文章を分析的に読み、仮説を積み上げて結論を導く論理の展開について理解する。 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 7 |
| | 定期考査 | | | | ○ | | ○ | ○ | | 1 |
| | 「私」が「主体」であるために<br>仲正昌樹<br>〈思考〉 | 文章を分析的に読み、事実から情報を抽出し、意見を形成していく論理の展開について理解する。 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | 「ＡＩの判断」船木亨<br>〈技術〉 | 筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、「人間」と「AI」との今後のあるべき関係を押さえる。 | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 4 |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | 6 |
| | 定期考査 | | | | ○ | | ○ | ○ | | 1 |
| 3学期 | 「わかろうとする姿勢」<br>鷲田清一<br>〈自己・他社〉 | ブレーズ・パスカルを例として取り上げた筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。 | 【知識及び技能】<br>現代の実社会に必要な母国語としての日本語に必要な知識や技能を身に付けている。<br>【思考力・判断力・表現力等】<br>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。 | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 「白い蛾」<br>安部公房<br>〈知の深化〉 | 文章を分析的に読み、根拠の妥当性と主張との関係を理解する。 | | | ○ | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 「言葉を学ぶとは」<br>高田明典<br>〈言語・認識〉 | 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 | | ○ | | | ○ | ○ | ○ | 5 |
| | 定期考査 | | | | ○ | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | | | | 合計<br>70 |